

第1章 環境教育の充実と環境保全活動の促進

今日の環境問題は、生活排水による水質汚濁や自動車の利用増大による大気汚染・騒音、消費の拡大による廃棄物の増大など身近な問題から、地球温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模の問題まで、複雑多様化しており、これらの環境問題に対応するためには、県民一人一人が日常生活と環境との関係について理解と認識を深め、環境に配慮した責任ある行動をとることが不可欠と考えられる。

このため、家庭、学校、地域など多様な場で、それぞれ年齢階層に応じた環境教育・環境学習の充実を図るとともに、これらを推進する教育や環境活動リーダーの育成などに努める地域の環境保全活動を一層促進する必要がある。

第1節 環境教育・学習の拡充

1 学校における環境教育の充実

(1) 環境教育推進事業

児童生徒に、海や山、川など先祖が守り引き継いできた優れた環境を守り続けようとする意識や態度を育てるとともに、産業廃棄物に関する体験的な学習などを通して、産業廃棄物の排出や減量化、資源の循環的な利用についての理解を深めることをねらいとして行っている。

環境教育推進事業研究推進校と、研究テーマ（平成24・25年度指定）

推進校	四国中央市立上分小学校
テーマ	身近な自然や社会の様子を正しく見つめ、よりよい環境をつくるために進んで活動する児童の育成 地域性を生かした学習と「チームマイナス3t」の活動を通して
推進校	砥部町立麻生小学校
テーマ	身近な環境を見つめ、親しみ、考え、実践する児童の育成 ～広げよう麻生から！もったいない輪！きれいだ輪～
推進校	鬼北町立三島小学校
テーマ	ふるさとの自然を愛し、進んで関わろうとする児童の育成 ー地域と関わる「総合的な学習の時間」の実践を通してー
推進校	四国中央市立三島東中学校
テーマ	身近な環境問題に関心をもち、主体的により良い環境を創造する態度を育成する
推進校	砥部町立砥部中学校
テーマ	ふるさと砥部の環境保全について、気づき、考え、実行する生徒の育成
推進校	宇和島市立宇和海中学校
テーマ	身近な環境問題に関心をもち、よりよい環境づくりや環境保全に配慮した望ましい行動がとれる生徒の育成
推進校	愛媛県立三島高等学校
テーマ	循環型社会形成に向けた取組

(2) エコハイスクール推進事業

県立高校・中等教育学校の中から指定した6校のうち、3校が「環境教育ハイレベル研究推進校」として、環境保全や自然保護等についてハイレベルな研究を行うことによる課題発見・解決型の環境教育に取り組み、3校が「循環型社会づくり実践推進校」として、生徒の「持続可能な社会づくり」に寄与する意欲を増進させるために地域との連携を軸とした体験活動や啓発活動を重視した実践的な環境教育に取り組んだ。

【平成24年度推進校と取組のテーマ】

区分	学校名	取組のテーマ
環境教育 ハイレベル 研究推進校	新居浜工業高校	微生物を利用した環境保全教育に関する研究
	伊予農業高校	伊予農業高校における再生可能エネルギーに向けた取組 -バイオマスペレットの活用-
	長浜高校	「長高水族館」から発信する環境教育
循環型社会づくり 実践推進校	弓削高校	地域と連携した循環型ライフスタイルを目指して -有用な微生物を活用した環境保全活動-
	大洲農業高校	環境教育出前授業による「持続可能な社会づくり」に寄与する意欲増進の研究 -小学校との交流を通して-
	野村高校	家畜排泄物を利用したバイオガスエネルギーの抽出と活用

「環境教育ハイレベル研究推進校」の具体的成果としては、

- ・新居浜工業高校が、微生物を利用した着色廃水脱色技術の研究で、バイオ甲子園2012で優秀賞を受賞し、パテントコンテストで特許出願資格を獲得した。
- ・長浜高校が、カクレクマノミの粘液の研究で、第56回日本学生科学賞中央審査会学校賞及び読売理工学院賞を受賞した。
- ・伊予農業高校が、バイオマスペレットの研究を行い、A E O Nエコワングランプリ、農林水産省「第10回オーライ！ニッポン大賞」に応募した。

「循環型社会づくり実践推進校」の具体的成果としては、

- ・弓削高校が、EM菌を利用した堆肥作成によるごみの削減に関する実践を、地域のNPO等と連携しながら行った。生徒に実施したアンケート結果からは、循環型社会の形成に関する知識と意欲が向上している様子がうかがえた。
- ・大洲農業高校が、ひまわり栽培による炭素の固定や再生可能エネルギーの研究を行った。また、この成果を紙芝居にまとめ、小学生を対象とした出前授業や交流活動を実施するなど、地域の環境意識の向上に努めた。
- ・野村高校が、家畜排泄物を利用したバイオガスエネルギーの研究を行うとともに、その成果を校内で発表することによって、生徒の環境意識を高めた。

以上のように、環境保全や自然保護等についての特色ある研究や地域との連携を軸とした体験活動を行うことにより、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動しようと

する態度を育成するとともに、研究成果の普及や体験活動の発表等により、県内の環境教育の一層の充実を図ることができた。

2 地域における環境学習の拡充

(1) 生涯学習講座開設事業（コミュニティ・カレッジ：環境講座）

県民が、心の豊かさや教養を高め、また、実用的な知識や技術を習得するために、年齢、性別、職業を問わず気軽に学習できる場として、豊富な学習項目と質の高い内容を備えた講座を開催するコミュニティ・カレッジを、生涯学習センター等において開設している。

「環境講座」は社会参画や現代社会の諸問題を解決していくための学習（特別コース）の一つとして実施しており、平成 24 年度は「環境問題を様々な観点から学び、環境汚染を防ぎ、未来に続くエコについての身近な知識を身につける」ことをテーマとして、生涯学習センター及び総合科学博物館、歴史文化博物館において表 2-1-1-1～3 のとおり開催した。

表 2-1-1 環境講座（コミュニティ・カレッジ）の開催実績（生涯学習センター）

年月日	内 容 (テーマ)	講 師
H24. 12. 9	レッドデータブックと生物多様性	松山東雲女子大学 名誉教授 石川和男
H25. 1. 13	気候変動に伴う環境変化	気象予報士 大西英記
H25. 1. 27	・地球温暖化とゴミ問題 ・ペーパーエコバックづくり	愛媛県体験型環境学習センター 森本忠嗣
H25. 2. 10	健康で安心できる暮らしの知恵	愛媛大学 名誉教授 立川 涼

表 2-1-2 環境講座（東予コミュニティ・カレッジ）の開催実績（総合科学博物館）

年月日	内 容 (テーマ)	講 師
H24. 7. 22	クイズで学ぼう！地球温暖化対策	愛媛県環境マイスター 小田安憲
H24. 8. 26	原子力発電と再生可能エネルギー	徳島工業短期大学 前学長 愛媛県立新居浜高等技術専門学校 名誉教授 近藤康夫
H24. 9. 9	天と地…その間（はざま）に生きる	愛媛県環境マイスター ちろりん農園 西川則孝
H24. 10. 7	健康で安心できる暮らしの知恵	愛媛大学 名誉教授 立川 涼

表 2-1-3 環境講座（南予コミュニティ・カレッジ）の開催実績（歴史文化博物館）

年月日	内 容 (テーマ)	講 師
H24. 7. 14	環境 NPO サン・ラブと エコロジータウンうちこ	NPO 法人 環境 NPO サン・ラブ 理事長 入江英昭
H24. 8. 25	クイズで学ぼう！地球温暖化対策	愛媛県環境マイスター 小田安憲

H24. 9. 8	健康で安心できる暮らしの知恵	愛媛大学 名誉教授 立川 涼
H24. 10. 6	竹林から見える環境問題	愛媛県環境マイスター 保谷忠良

(2) 環境マイスター派遣事業

県民が自主的に環境学習に取り組む際の支援制度として、県内に在住する環境活動のリーダーや研究者など93人を専門分野別に「環境マイスター」として登録し、学校（保護者団体を含む。）、地域の環境活動グループ、自治・町内会、事業者団体等が学習会や講演会などを開催する場合に、マイスターを講師として派遣している。24年度の派遣実績は、37回であった。

- ・派遣先 地域環境活動グループ、学校（保護者団体含む。）、自治・町内会、その他各種団体等が行う環境学習会等で、県民を対象として、参加者が概ね20名以上で、政治、宗教及び営利を目的としないもの。
- ・申請等窓口 派遣を希望する団体等の受付や、派遣に適した環境マイスターの選定等は、愛媛県体験型環境学習センター（えひめエコ・ハウス）のエコライフ推進員が行う。
- ・登録内訳 事業系環境保全部門25人 生活環境保全部門21人 自然環境保全部門47人
- ・派遣経費 環境マイスターの派遣に要する経費（謝金）は、県が負担する。



環境マイスター活動状況

(3) こどもエコクラブ事業

持続可能な社会を創るためには、21世紀を担う子ども達が将来に渡り環境を大切に
する意識を持ち、環境にやさしい暮らし方を実践していくことが必要であるため、
環境省では、平成7年度から「こどもエコクラブ」事業を通じて、子ども達の地域
の中での主体的な環境の学習や実践活動を支援し、県では、その普及啓発を図っ
ている。平成25年3月31日現在の登録数は、5市1町、15クラブで会員数948人である。

(4) 身の回りの放射線測定体験教室

放射線の性質や影響等について、親子で体験的に学べる機会を提供し、放射線の性
質や影響等に関する講演、簡易放射線観察器霧箱の製作、放射線測定器による測定
実習により、正しい知識の普及・啓発を図ったほか、放射線の性質や影響等につ
いての見識を深め、放射線に関する授業の充実を補助することにより、中学生の生徒

等に放射線の正しい知識を普及させるため、中学校理科担当教員に対しても同内容の研修会を開催した。

開催年月日	場所	参加人数
H24. 7. 28 (土)	えひめこどもの城 「えひめエコ・ハウス」	30人
H24. 8. 4 (土)	愛媛県総合科学博物館	41人
H24. 8. 18 (土)	愛媛県原子力センター	24人
H24. 12. 27 (木)	愛媛県総合教育センター ※ 教員対象	28人

第2節 環境教育・学習を推進する人材の育成

1 えひめ環境大学

環境関連の実務者や環境保全活動者などに、より高度な環境知識を修得してもらうため、学識経験者や環境分野の専門家を講師として迎え、専門的で質の高い講義内容の「えひめ環境大学」を実施した。平成24年度は、メインテーマを「持続性のある社会を目指して」に設定し下記のとおり開催した。受講者は延べ440人で、5回中4回以上の受講者には修了証書を交付した。

表2-1-4 えひめ環境大学の開催実績（平成24年度）

回	月 日	講 師	演 題
1	7月7日(土) 【13:30~16:00】	愛媛大学農学部教授（特定教員） 若松 伸司	最近の大気環境問題 －越境大気汚染を中心に－
2	7月14日(土) 【13:30~16:00】	国立環境研究所主席研究員 五箇 公一	外来生物は、なぜ増え続けるのか？ －地域固有性喪失の危機－
3	7月21日(土) 【13:30~16:00】	東北大学多元物質科学研究所教授 中村 崇	都市鉱山の開発 －クリティカルメタルのリサイクルシステムと技術－
4	7月28日(土) 【13:30~16:00】	国立環境研究所上級主席研究員 野尻 幸宏	地球温暖化、変化する気候に対する世界の取り組みと私たちの暮らし
5	8月4日(土) 【13:30~16:00】	愛媛県環境創造センター所長 森田 昌敏	バイオマスエネルギー－世界の現状と課題－並びに総合討論

2 環境教育指導者養成に関する研修への教員派遣

環境教育・環境学習を推進する教員を育成するために、全国規模の研修会へ教員を派遣した。

【派遣実績】

月 日	名 称	会 場	派遣者数
-----	-----	-----	------

平成25年2月2日、2月8日	環境教育リーダー研修 基礎講座	西宮市役所 他	3名
内容	環境教育等促進法や新学習指導要領を踏まえ、環境教育を担う学校教職員や地域で環境に関する活動を実践している方々を対象に、E S Dの要素を含めた学校カリキュラムのデザインについて講義及び演習を通じて、より質の高い効果的な環境教育、環境保全活動を実践できる人材を育成する。 環境省 主催		
月 日	名 称	会 場	派遣者数
平成25年2月13日	全国環境学習フェア	国立オリンピック青少年センター	1名
内容	持続可能な社会の構築のために、地球規模の環境問題や身近な都市・生活型公害などの環境問題の解決に向けた循環型社会の実現を目指し、幅広く環境教育・環境学習の普及・充実を図るため環境について考える場を設ける。 文部科学省 主催		

3 水を大切にする環境学習支援事業（中予地方局）

水の大切さに気づき、水を守るために自ら考え行動する子どもたちを育成するため、平成 24 年度は中予地方の小学生、中学生とその保護者及び中予地方在住者を対象に、水に関する実験と地元企業が製造する商品と水の関係に着目した現地見学を含む体験型環境学習講座を行った。

【体験型環境学習講座】

開催年月日	内容	参加者数
平成 24 年 8 月 29 日	【座学(実験)】 愛媛県体験型環境学習センター ・講師：加藤徳雄(愛媛県医療技術大学講師) ・炭をろ過材として用いるろ過装置を組み立て、ろ過する前と後の水の色、pH、COD、においを比較し、浄水効果を学習 【現地見学】 東レ株式会社愛媛工場 ・中空糸を使った浄化試験や海水の淡水化試験装置を見学	30名
平成 24 年 12 月 26 日	【座学(実験)】 松前総合文化センター ・講師：立石康(愛媛県理科支援員) ・節水計算尺の作成と水電池を使った水の特性を学習 【現地見学】 株式会社えひめ飲料松山工場 ・地下水を使用して製造されるポンジュースの製造工程を見学	51名



第3節 協働による環境保全活動の促進

1 自主的な環境保全活動の促進

(1) 「三浦保」愛基金環境保全活動支援事業

「三浦保」愛基金を活用し、環境保全又は自然保護に係る活動を行う非営利団体に対し、公募、審査のうえ補助金を交付するとともに、環境保全や自然保護に積極的に取り組んでいる個人や団体を表彰する活動に支援し、環境保全・自然保護活動の活性化を図った。

○環境保全・自然保護分野公募事業

28 団体から応募があり、プレゼンテーションによる審査を経て 23 団体に助成

- 対象事業
 - ・地球温暖化防止を推進する活動に関する事業
 - ・環境学習を推進する活動に関する事業
 - ・生活環境を保全する活動に関する事業
 - ・自然環境を保全し、又は活用する活動に関する事業
- 補助率

事業費が 50 万円以下の部分	10 分の 10 以内
事業費が 50 万円を超える部分	2 分の 1 以内
- 限度額

1, 250 千円（補助対象事業費は 2, 000 千円）

○環境保護活動顕彰・啓発事業

環境保護に著しく貢献した個人や団体を表彰するとともに、環境保護に関する普及啓発を行う団体に補助金を交付

- ・対象団体 三浦保環境賞実行委員会
- ・表彰式日時 平成 25 年 2 月 8 日
- ・会場 松山全日空ホテル
- ・被表彰者

大賞	愛媛大学大学院逸見彰男研究チーム（松山市）
知事賞	株式会社ダイキアクシス（松山市）
奨励賞	えひめ千年の森をつくる会（東温市）
県奨励賞	大三島の自然を守る会（今治市）
特別賞	えひめ森の案内人会（松山市）

(2) 環境啓発ポスターコンクール

環境意識啓発用ポスターを小中学生、高校生を対象に募集し、優秀作品をえひめエ

コ・ハウス（愛媛県体験型環境学習センター）はじめ県内各地で展示、また、環境白書に掲載し、県民の環境意識の高揚を図った。

- ・募集対象 県内小学生・中学生・高校生
- ・募集期間 平成24年6月29日（金）～平成24年9月27日（木）
- ・応募点数 1,952点（小学生485点、中学生682点、高校生785点）
- ・金賞 3点（小学生1点、中学生1点、高校生1点）
- ・銀賞 6点（小学生2点、中学生2点、高校生2点）
- ・銅賞 9点（小学生3点、中学生3点、高校生3点）
- ・佳作 12点（小学生6点、中学生3点、高校生3点）

(3) クリーン愛媛運動

- ・目的 豊かな自然と風土に恵まれたふるさと愛媛の住みよい快適な生活環境を創造する。
- ・運動内容 昭和52年度から7月をクリーン愛媛運動強調月間とし、県民意識の啓発と県民総参加による河川、海岸、道路、公園等公共施設などの清掃美化活動を展開しており、平成24年度は、延べ約28万人の県民の参加を得て環境美化活動を実施した。

2 環境活動団体との協働の推進

(1) 愛リバー・サポーター制度

愛リバー・サポーター制度とは、河川敷の一定区間（原則として200m～500m）について、住民団体、河川愛護団体、NPO、企業等の自発的な河川ボランティアを募集し、これらの団体に河川の「サポーター」となっていただくもので、行政と住民のパートナーシップの下、美しい河川環境を創り出していこうとする取組である。

「愛リバー・サポーター」となった団体は、サポーター区間の河川敷の除草や清掃美化活動を2年間継続して定期的（年間2回以上）に行い、一方行政（県及び市町等）は、団体の名称を記載した標識看板の設置、収集したゴミの回収・処分やボランティア傷害保険の負担等の支援を行う。

平成12年度の制度創設以来、24年度末現在で県下20市町の102河川で240団体を認定し、各団体において清掃美化活動等が実施されており、各団体の構成員総数は16,320人、サポーター区間延長は約167kmにも及んでいる。



愛リバー・サポーター清掃美化活動

(2) 愛ロード・サポーター制度

愛ロード・サポーター制度とは、県管理道路の一定区間について、住民団体、道路愛護団体、NPO、企業等の自発的な道路ボランティアを募集し、これらの団体に道路の「サポーター」となっていただくもので、行政と住民のパートナーシップの下、美しい道路環境を創り出していこうとする取組である。

「愛ロード・サポーター」となった団体は、活動区間の清掃美化活動を年2回以上行い、一方行政（県及び市町等）は、ごみ袋や軍手、草花の種子の提供、団体の名称を記載した標識看板の設置、収集したゴミの回収・処分やボランティア傷害保険の負担等の支援を行う。

平成13年度の制度創設以来、24年度末現在で県下20市町の100路線で210団体を認定し、各団体において美化清掃活動等が実施されており、各団体の構成員総数は7,169人、活動延長は約390kmにも及んでいる。

(3) 愛ビーチ・サポーター制度

愛ビーチ・サポーター制度とは、県が海岸・港湾緑地の一定区域について、住民団体、海岸愛護団体、NPO、企業等の自発的な清掃ボランティアを募集し、これらの団体に海岸・港湾緑地の「サポーター」となっていただくもので、行政と住民のパートナーシップの下、美しい海岸環境を創り出していこうとする取組である。

「愛ビーチ・サポーター」となった団体は、海岸・港湾緑地の除草や清掃美化活動を年間2回以上行い、一方行政（県及び市町等）は、団体の名称を記載した標識看板の設置、収集したゴミの回収・処分やボランティア傷害保険の負担等の支援を行う。

平成14年度の制度創設以来、24年度末現在で県下13市町の37海岸・港湾緑地で44団体を認定し、各団体の構成員総数は2,154人となっている。

(4) 一般サポーター制度

一般サポーター制度とは、県が管理する河川、海岸及び道路の一定区間について、自発的に清掃美化活動を行う住民団体等を募集し、これらの団体に河川、海岸、道路の「サポーター」になっていただくもので、行政と住民のパートナーシップの下、美しい河川、海岸、道路環境を創り出していこうとする取組である。

「一般サポーター」となった団体は、活動区間の清掃美化活動を年2回以上行い、一方県は、ボランティア傷害保険の負担の支援を行う。

平成18年度に制度が創設され、24年度末現在で県下8市町の2河川及び道路9路線1海岸で11団体を認定し、各団体において清掃美化活動が実施されており、各団体の構成員総数は46人、サポーター区間延長は、河川約0.7km、道路約9.9kmとなっている。

(5) 道路美化スポンサー事業

道路美化スポンサー事業とは、社会貢献に理解のある企業等からの協賛金により協議会を設立し、協議会がその資金を利用して、県管理道路の中央分離帯等の植栽管理を行うもので、行政と住民のパートナーシップの下、美しい道路環境を創り出していこうとする取組である。

平成19年度から平成24年度までの間、20企業等の協賛により設立された協議会が西条市内の（主）壬生川新居浜野田線 4 km の区間で、除草や剪定など道路の美化保全活動を実施している。

なお、県は、協賛企業等の名称を記載したアダプトサインの設置を行っている。

(6) 環境協働取組推進事業

「三浦保」愛基金を活用し、環境保全のための協働取組に向けた人的・物的な体制整備を図るため、東・中・南予で、改正された「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」の概要説明や協働取組の事例発表を行う研修会を開催するとともに、協働取組の主導的役割を担う環境コーディネーターの養成講座を実施したほか、県内の環境体験学習の場を紹介する冊子を作成し、関係団体へ配布した。

【環境教育と協働取組を考える研修会】

地域	日時	場所	参加状況
東 予	平成 24 年 8 月 31 日	東予地方局	58 名
中 予	平成 24 年 8 月 23 日	中予地方局	61 名
南 予	平成 24 年 8 月 27 日	南予地方局	47 名

【環境コーディネーター養成講座】

日時	場所	受講状況
平成 24 年 9 月 6 日	講義：中予地方局 実習：今治自然塾	24 名

第4節 多様な環境情報の収集と提供

1 えひめの環境ホームページ

このホームページでは、環境施策全般に関するお知らせ、環境白書、環境関係条例、要綱、環境影響評価等の情報を提供し、随時、内容の更新を行っており、様々な環境情報を見ることができる。

URL <http://www.pref.ehime.jp/kankyoku/k-hp/index.html>

2 環境創造センターホームページ

環境創造センターの取組や、客員研究員が持つ様々な研究情報をホームページへ掲載し、情報発信している。

URL <http://www.pref.ehime.jp/h15600/4434/souzou/index.html>

3 愛媛県原子力情報ホームページ

県の放射線監視テレメータシステムで常時収集している伊方発電所周辺測定局の放射線データ（空間放射線線量率等）等を、リアルタイムで提供している。

また、伊方発電所の運転状況等の最新データ、伊方発電所の異常時通報連絡に係る県の報道発表資料、伊方原子力発電所環境安全管理委員会の開催状況等の原子力情報を随時提供している。

URL <http://www.ensc.jp/>

4 愛媛県原子力情報アプリ

愛媛県原子力情報ホームページで公開している伊方原発周辺及び県内広域の環境放射線の測定データや伊方原発の異常通報連絡等について、スマートフォン用アプリで情報提供している。



(iPhone、Android 共通)

5 愛媛県大気汚染常時監視テレメータシステム監視情報ホームページ

県内における光化学オキシダント及び微小粒子状物質(PM2.5)の速報値並びに光化学スモッグ注意報等の発令状況等について、広く県民に情報提供している。

URL <http://www1.ocn.ne.jp/~ehime-ox/>

6 えひめの循環型社会づくりホームページ

県内における廃棄物の減量化・リサイクルに関する取組を促進するため、3Rイベント・グループ及びリサイクル製品の紹介や循環資源交換情報などを盛り込んだ「えひめの循環型社会づくり」ホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

URL <http://www.pref.ehime.jp/h15700/4731/index.html>

7 愛媛県バイオマスのホームページ

低炭素社会の実現に向け、バイオマスの着実な活用を推進するために、「愛媛県バイオマス」のホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

URL <http://www.pref.ehime.jp/kankyoku/k-hp/theme/biomass/>

8 えひめ自然環境情報ホームページ

優れた自然を県民共有の財産として適正に保全し、自然環境に対する県民の一層の愛着と保護意識の高揚を図るため、県内の自然公園、自然環境保全地域、自然海浜保全地区等の情報を提供している。

URL http://www.pref.ehime.jp/h15800/e-shizen_k/

9 えひめ自然の守(もり)ネットワークホームページ

本県の自然環境は、環境省、県がそれぞれ委嘱する自然公園指導員、自然保護指導員及び各種自然保護活動団体等による自主的な活動によって保全されている。これらの活動をホームページへ掲載し、各指導員、団体等が情報を共有するとともに、広く県民に情報提供している。

URL http://www.pref.ehime.jp/h15800/e-shizen_m/